

清掃活動 ◆ユニティー プロジェクト◆

🌱 何しか拾うで〜!一緒にやれへん?! 🌱

☆先月の活動

駅前公園に集合し、4班に分かれて始めていきました。ユニプロのVisionに基づいて、個人で目標をたて、みんなで協力し合いながら清掃した後、班長を中心にリフレクションをして、みんなで意見交換をします。より地域に貢献して、家族の絆を結べるユニプロを目指しています。今回は新しいメンバーの中から、副班長さんが二人デビューし、新鮮な気分で活動できました。清掃中に、議員さんが声をかけて下さり、「どの団体がしてるの?今の若い人たちがこういう素晴らしいことをしているのはいいことだ」と褒めて下さいました。地元の方に活動を認めて頂いたようで、嬉しく思いました。

☆メンバーの声

道路わきの雑草が生えたい放題に生えてて一時間でどこまで草を抜けるんだろうと思った。でも、一人で抜いていると途中で投げ出してしまいそうになるけど、みんなでするからがんばれるんだと実感しました。(23歳事務員)

道のわきにゴミがたくさん落ちてたので、それがゼロになるまで拾おう!と思いつつ活動しました。でも活動していくうちに、ゴミゼロも大事だけれど、みんなで楽しく活動したり、行き違う人に笑顔で挨拶することも大切だと改めて気づかれました。(24歳会社員)



6/15(日) 13:30~16:30 清掃活動
場所: 寺田町駅周辺

多文化交流 ◆CHIKUZEN-NI◆

🌱 ひとつになろう!我が家のように 🌱

☆先月の活動

One Child One Peace-Projectによる「フィリピンツアー2008」に、リーダーとサブリダーの二人が視察参加しました。ミンダナオ島のブトゥアン市の空港で、多くの人たちの大歓迎のパレードに迎えられました。メインイベントの兄弟姉妹結縁式はマニラ市とケソン市で行われ、日本とフィリピンの友好と親善を図るための姉妹結縁状に4人の女の子たちとサインをし、姉妹の絆を結びました。

☆メンバーの声

今回ツアーに参加して、一番強く感じたことは、一対一の関係の中で、自分の中にある心の壁を超えることが国境の壁を超える一番の近道だということです。私自身が、お兄さんお姉さんの心で、支援する子供たちを、弟や妹と思って接するところに、地球が一家族となる第一歩を踏み出すことができると感じました。家族愛とはどんなものかと頭ではなく、心で感じることで、このような貴重な経験をさせていただいたことに感謝しています。こうした活動を毎年継続していくことが大切だと感じます。変わらない支援と国境を越えた兄弟姉妹の絆を結んでいくことで、日本とフィリピンという二つの国の間に、深い信頼や家族愛を築いていけることができるし、これを第一歩として、世界に家族愛を広げていくモデルとしていけるのではないかと思います。(サブリダー-川口望)



5/22(木)~27(火) 兄弟姉妹血縁式
場所: マニラ市市長室

音楽を通じた施設訪問 ◆エンジェル ブリッジ◆

🌱 私たち音楽家族を目指してます 🌱

☆先月の活動

エンブリ5人、CHIKUZEN-NI4人の合計9人で、パートナーシップ団体「KAPFA」のメンバーに加わって、フィリピン独立記念セレモニーに参加しました。大きな舞台上で演奏や歌の出し物をしました。楽屋や舞台裏やお客さんの雰囲気も、フィリピン的なアットホームな雰囲気、メンバーはリラックスして楽しんで参加できました。浴衣やフィリピン衣装を着て、国歌や、フィリピン人気歌手の歌「One Family Under God」を歌い、会場全体は本当に盛り上がりしていました。

☆メンバーの声

観客はほとんどフィリピンの方で、言葉もわからない私たちが孤立している感じが、外国人ってこういう気持ちかなと思いました。そんな中で苦勞している人たちがいるなら、助けてあげなければいけないなと思いました。「国境を越えて一つの家族になろう」というメッセージを歌にこめ、お客さんたちに伝えようと思いましたが、私たちの思いが上手く伝わるか最初はとても緊張しました。しかし、会場の雰囲気がとても温かく、私達を受け入れてくださっているのを感じました。「One Family Under God」を歌った時には、涙を流してくださった方もいて本当に感動しました。同時に、「One Family」の実現をずっと前から願ってこられたのが、フィリピンの方たちだったんだと感じました。歌だから、その思いやメッセージを伝えられたんだと改めて音楽の素晴らしさを実感しました。(プロジェクトリーダー-太田久美子)



6/15(日) 10:00~18:00
フィリピン独立記念セレモニー出演 場所: 御堂会館



6/8(日) 10:00~15:00
間伐体験 場所: 富田林市太子町

◆Nature Peace Family(ネップ)◆

🌱 自然保護を通じた青少年健全育成 🌱

☆先月の活動

植林も生えすぎると一種類の木しか生えない「森の砂漠」になってしまいます。こうした植林に、虫や鳥や草花の多くの命が森に蘇るように、間伐をしている人たちがいます。今回NPFは、総勢8名で間伐の一日体験ボランティアに行ってきました。

☆メンバーの声

実際に間伐してある地帯と、そうでない地帯は目で見ると大きく違って、光の入り方が良く、他の植物も多種生えている部分と、真暗で植物が生えない地帯とで、目に見えて違い驚きました。生態系の機能を復活させるためには、間伐が非常に重要で、体験して初めて活動の大切さや大変さが身にしみてわかりました。(24歳営業)

前回は雨の間伐をされていたのだと聞き、寒くても暑くても、変わらず活動されているのはすごいなと思いました。しかも、楽しみながらされていることが素晴らしいなと思いました。世代や性別を超えて仲間を尊重しあっている場所は、居心地がいいなと思いました。(26歳事務員)